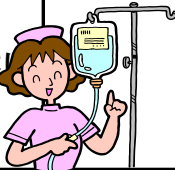
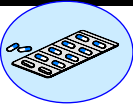


経過 月日	外来から入院まで	入院日・治療1日目	治療2日目	治療3日目・退院指導
アウトカム	治療について理解することができる。	治療内容・副作用を理解し安全に治療をうけることができる	副作用について理解でき、対策がとれる。	自宅での生活についての注意事項が守れ、次回の治療の準備ができる
	検査を行います。 （採血、レントゲン・CT検査・エコーなど） ・外来で採血、診察をしてから入院となります。	・治療の内容によって、治療の前に点滴を行うことがあります。続けて治療の点滴を行います。 ・腕から点滴している患者様は点滴刺入部の痛み・発赤・違和感、腫れが出現した場合すぐに看護師にお知らせ下さい。 ・皮膚の赤み・かゆみ、気分不快のあるときもすぐにお知らせ下さい。		※土・日曜日の急な退院の際は対応しかねます。  ・治療のお薬によっては、下痢をしやすい場合があります。医師や薬剤師の説明を十分にお聞きになり、自宅での内服調整を行ってください。
薬	・お薬手帳を持参し、看護師へお渡しください。	・自分で薬を管理する事が難しい方は申し出てください。 ・医療用麻薬を内服されている場合もお申し出ください。	・吐き気止めのお薬を内服していただく事があります。 ・便が出にくい時は、下剤の調整をいたします。	・医療用麻薬を内服されている方は、特に便秘に注意しましょう。2～3日に一度はお通じが出るように調整し、「少し柔らかい」と感じる程度が理想です。 ・化学療法後、白血球が少なくなりますので、感染予防のためうがい・手洗い・マスクの着用をお願いいたします。体調が悪いと感じた時は、人混みを避けてください。
食事や生活		・食事に制限はありません。食欲や症状に合わせ食事変更できますのでお声掛け下さい。食欲のない患者様には、特別食を提供しております。 ・特に安静度の制限はございませんが、点滴治療中はなるべく静かに過ごして下さい。	・午前中に清拭タオルをお渡しします。 ・入浴希望時はスタッフにお声がけください。	・脱毛しやすい抗がん剤があります。気になるときは医療用ウィッグや帽子がありますので、お声がけください。 ・以下の症状がある時は病院に連絡して下さい。 ◎発熱：38度以上が2日以上続いている。 ◎下痢：排便回数が1日7回以上である。 ◎吐き気・嘔吐：1日6回以上吐いている。 ◎食欲：食欲がなく、水分も摂取できない。 ◎皮膚の異常：点滴したところが痛い、または赤く腫れている。 ◎むくみ：急激な体重増加やむくみがでてきた。 ◎口内炎：痛みがあり粘膜がただれ、出血している。
説明・指導	・入院前に病状・検査・治療の説明を行います。 ・治療の際は同意を確認しサインしていただきます。 ・治療費の相談は、相談支援室でお受けいたします。 ・入院後に病棟案内、入院生活について説明いたします ・入院当日は入院証書と病衣依頼書をお持ち下さい 	・薬剤師による治療薬の説明があります。 ・入院時に書類の確認をいたします。 ・治療費が高額になる場合がありますので、ソーシャルワーカーにご相談いただけますので、お声がけください。 ・‘わたしのカルテ’という手帳をお渡ししますので、ご自分の体調管理にお役立てください。（外来受診時、ご持参ください） ・その他の症状、特に体の痛み、食欲がないなど困ったことがあれば、入院時看護師にお話下さい。 ・次回から外来化学療法に移行する患者さんは、外来化学療法室での説明があります。 ・特別な栄養管理の必要性（有 ・ 無） ・かぜをひいている方の面会は、お断りさせていただきます。		・平日：8:30～17:00 腫瘍内科外来 症状のあるときは、平日日中に連絡をしていただくと担当医に繋がり、指導を受けることができます。 ・土日・祝日・夜間：診療時間外は一般外来は休診ですので、必要時は救急外来で対応いたします。 〒989-6183 大崎市古川穂波三丁目8-1 大崎市民病院 代表番号 0229-23-3311 

◎入院時、本紙を忘れずにお持ちください。入院後もこの用紙にて説明いたします

注1: 病名などは、現時点で考えられるものであり今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2: 入院期間については現時点で予想されるものです。

2026年1月 改訂

担当医師：

担当看護師：

(本人または家族)：